

「地理的犯罪分析と犯罪予防」

日時：平成 22 年 4 月 9 日（金）14:00～18:00

会場：東京大学 生産技術研究所 駒場IIキャンパス A棟3階中セミナー室（As311・312）

（小田急線／東京メトロ千代田線 代々木上原駅より徒歩 12 分 井の頭線 駒場東大前駅より徒歩 10 分）

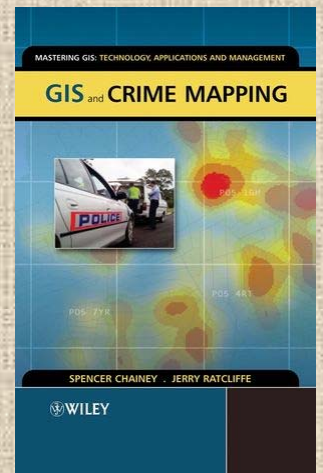
参加無料（定員 50 名につき、事前連絡をお願いします）

◎ セミナー概要

1990 年代以降の GIS の普及は、犯罪研究を飛躍的に進展させました。最近は、単に犯罪の地理的分布を明らかにするだけでなく、犯罪の発生時刻を考慮した集中地区の検出・可視化や、GIS による分析を警察活動や子どもの被害防止に役立てる取り組みなども進められています。

本セミナーでは、日米における GIS による地理的犯罪分析の第一人者であるジェリー・ラトクリフ氏（テンプル大学）、中谷友樹氏（立命館大学）をお迎えし、最新の研究成果や、その応用事例に関して話題提供をいただきます。

犯罪現象に興味のある方だけでなく、GIS を用いた都市空間の分析や問題解決への応用について興味のある研究者・実務者・学生の皆様のご参加をお待ちしています。



◎ スピーカー

ジェリー・ラトクリフ（米国 テンプル大学 犯罪学科 教授）

中谷友樹（立命館大学 文学部 准教授）

原田 豊（科学警察研究所 犯罪行動科学部 部長）

◎ プログラム

14:00～ <開会あいさつ・趣旨説明>

14:10～ 「The importance of proximity in crime prevention」

（犯罪予防における近接性の重要性）

ジェリー・ラトクリフ（テンプル大学犯罪学科）

抄訳：菊池城治（科学警察研究所 犯罪行動科学部 犯罪予防研究室）

15:55～ <休憩>

16:05～ 「時空間キューブを用いた犯罪クラスターの視覚化」

中谷友樹（立命館大学文学部）

16:45～ 「子どもの犯罪被害リスクの推定：日常活動／「ヒヤリ・ハット」調査から」

原田 豊（科学警察研究所犯罪行動科学部）

17:25～18:00 <総合討論>

【主催】社会技術研究開発プロジェクト「子どもの被害の測定と防犯活動の実証的基盤の確立」（研究代表：原田豊）

http://www.anzen-kodomo.jp/program/research/y_harada.html

【共催】東京大学 空間情報科学研究センター

【後援】（独）科学技術振興機構 社会技術研究開発センター

【参加申し込み先】

科学警察研究所 犯罪行動科学部 犯罪予防研究室

担当：雨宮 護（amemiya@nrips.go.jp）